

2013年10月6日

鎮魂の森 南相馬市復興市民植樹祭



10/5 9:00出発！

ベイオーク出発



10/5 12:00刈谷SA
昼食休憩



10/5 14:00静岡SA
休憩



10/5 16:00 海老名J先で事故渋滞。
ここからさき渋滞が相次ぎ東京を出る
のに約3時間



10/5 22:00
東日本健康ランド
カッパ王国着13時間約880km



10/6 10:00
シャトルバスの中で
木札をもらう



10/6 10:00
シャトルバスの中から。
被災地の田園跡が続く



10/6 7:30
カッパ王国発



一帯は何も無い荒野
復興も進まず
時は止まっているかのようです



10/6 10:30 会場
約3000人！かすかに見えるピンクがベイオークです。
元総理 細川氏の挨拶。AKB48・くまもんなど全国から
の応援もありました。



10/6 11:30 会場
さあ！植えるぞ！



10/6 11:30 植樹中
防寒と土が飛ばないように藁を引きます。



横浜国立大学名誉教授 宮脇昭氏

国内外で土地本来の潜在自然植生の
木群を中心に、その森を構成している
多数の種類を混ぜて植樹する
「混植・密植型植樹」を提唱し活動。

イオンの植樹活動にも協力し、震災前に作られたイオンの森は
あの津波にも耐える事が出来た。よくある松林の防風林は、
津波になぎ倒されているが、詳しい人によると「なぜ根の浅い
松なんて植えるのだろうか？」との事。また、スギ・ヒノキなどの
針葉樹林は、人間が材木を生産するため人工的に造林した
もので、人が手を入れ続けなければ維持できない。
シラカシなどの常緑広葉樹、海岸部はタブノキ、シイ等の
いずれも照葉樹林が本来の姿で、土地本来の森であれば、
火事や地震などの自然災害にも耐えられる能力を持つ。

津波も耐えた宮脇先生の鎮守の森
今回植樹した木々も約15~20年後、立派な防潮堤になっていると思います。



10/6 12:30 植樹後
屋台の牛タン串焼きで一息

10/6 16:00 仙台
別働隊と合流後、軽食
10/6 17:00 仙台からベイオークへ出発
10/7 2:30 ベイオーク着

全走行距離 1850km
移動時間 21時間
(参加者)
宮田・三樹・服部・河崎・吉野・福井
他関連企業有志 全11名